

西ベンガル州プルリア県上水道整備計画【インド】

施策所管局課 国別開発協力第二課
 評価年月日 令和5年4月

1 案件概要	
(1) 供与国名	インド共和国
(2) 案件名	西ベンガル州プルリア県上水道整備計画
(3) 目的・事業内容 *閣議決定日、供与条件などを 含む	<p>慢性的な水不足が生じており、地下水のフッ素汚染が懸念される、インド東部西ベンガル州プルリア県において上水道施設の整備を行うことにより、安全かつ安定的な上水道サービスの提供を図り、もって同地域の住民の健康状態と生活環境の改善に寄与するものである。</p> <p>案件の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上水道施設（取水施設、浄水場、送水管、ポンプ施設、配水池、配水網等）の整備 ・ コンサルティング・サービス <p>ア 閣議決定日：平成25年3月26日 イ 供与限度額：142.25億円 ウ 金利：1.4%（コンサルティング・サービスについては0.01%） エ 償還（据置）期間：30年（10年） オ 調達条件：一般アンタイト</p>
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	<p>ア 社会ニーズの現状</p> <p>本事業計画当初、プルリア県は西ベンガル州内で上水道普及が遅れている県の一つで利用可能な表流水が限られていた。このため、住民の大半が生活用水を地下水に依存しているが、近年の人口増加による水需要の増加などを背景に、乾期は地下水位が低下し、地下水の汲み上げが不可能となるなど慢性的な水不足が生じていた。また、プルリア県の一部の地下水は、世界保健機構（WHO）の飲料水ガイドライン値を超える天然由来のフッ素が確認されており、上水道整備を通じた安全な飲料水の提供が喫緊の課題となっていた。</p> <p>現時点においても、インド全体の世帯別の上水道普及率が約59%であるのに対し、西ベンガル州における同普及率は約31%に留まることから、上水道普及の向上に資する本事業に対する社会的ニーズが引き続きある。</p> <p>イ 事業遅延に関する経緯・現状</p> <p>事業開始後に行った水源調査の結果、2018年2月に水源を伏流水・地表水から既存のダムとする変更がなされたことにより事業に遅延が生じた。また、2020年3月以降は新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴う、度重なるロックダウンによる影響でさらなる遅延が生じたが、現在は2025年1月完工に向けて順調に工事が進められている。</p>
(2) 今後の対応方針	<p>本件に関するニーズが引き続き高く、事業の進捗を妨げていた要因が解決していることから、支援を継続する。</p>

3 政策評価を行う過程において使用した資料等	<ul style="list-style-type: none">・ 交換公文・ 外務省の約束状況に関する資料及び案件概要・ 国際協力機構の案件検索・ 国際協力機構の事業事前評価表・ その他国際協力機構から提出された資料
------------------------	---